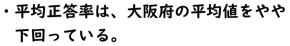
国語





- ・読むことについての正答率は、大阪府 の平均値を上回っている。
- ・漢字の問題や、記述問題で条件を満た すように回答するところに課題が見ら れる。

今後の対策

書く力、説明文を読み取る力を高めるために、

- ・初見文に触れる機会を増やす。
- ・条件付きの文章を書く機会を増やす。
- ・解答に必要なポイントとなる文言(説明文で使う言葉)を見つけ、理解できるようにする。
- ・漢字の意味を理解して読むようにする。

わくわく問題

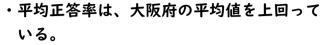


- ・平均正答率は、大阪府の平均値をやや下回っている。
- ・興味・関心のあることがらについて、意欲的に工夫 して相手に伝える問題の正答率が高い。
- ・図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える問題に課題が 見られる。

今後の対策

・工夫して相手に伝える力がついてきているので、 今後も「理由や根拠を明確にして伝える」など論 理的に考える場を設定し、さらに力を伸ばしてい く。

算数





- ・数と計算や変化と関係の領域は、大阪府の 平均値を上回っている。
- ・正三角形・台形の意味や性質、三角形で底辺 と面積の関係をもとに面積の大小を判断し、そ の理由を言葉や数を用いて記述する問題に課 題が見られる。

今後の対策

図形領域や記述問題の力をつけるために、

「全国学力学習状況調査・すくすくウォッチ」

- ・図形領域はとくにくり返し授業の中で触れられるようにする。
- ・友達との考えの交流を通して、算数用語を使う機会を増やす。
- ・自分の考えや友達の考え、学んだことなどを算数用語を使い ながら、自分でまとめる活動を大切にする。

(自力解決、授業の振り返りなど)

理科

- ・平均正答率は、大阪府の平均値をやや上回 っている。
- ・「エネルギー」を柱とする領域の問題は、 大阪府の平均値を上回っている。
- ・「地球」を柱とする領域の問題は、大阪府 の平均値と変わらない。
- ・選択式や短答式の問題と比べると、記述式 の問題に課題が見られる。

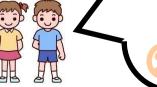
今後の対策

- ・実験を行う際、方法を検討したり、問題から予想や 仮説を発想したりする場を今後も設定していく。
- ・資料から結論を導き出すために必要な数量、変化の 大きさなどの特徴を見つけ、それをもとに自分の 考えを言葉で表現する場を今後も設定していく。



- ・国語、算数の勉強は大切で、学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ と感じている児童が多い。
- ・学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは、勉強の役に立つと感じている児童が多い。
- ・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、 話の組立てなどを工夫して発表している児童が多い。
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童が多い。
- ・学級活動における学級の話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて 取り組んでいる児童が多い。
- ・先生は、あなたのよいところを認めていると感じている児童が多い。
- ・国語の勉強が好きと感じている児童が少ない。
- ・読書が好きと感じている児童が少ない。

アンケートから



本校は小規模校であり、こういった調査では母数が少ないため、全体の傾向を分析しにくい側面もあります。全体の回答率という大くくりの結果だけでなく、個々の設問についての結果や、児童個別の結果を参考にして、授業改善に努めております。